

報告事項カ

令和8年度鳥取県立高等学校入学者選抜の状況について

令和8年度鳥取県立高等学校入学者選抜の状況について、別紙のとおり報告します。

令和8年4月14日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

令和8年度鳥取県立高等学校入学者選抜の状況について

令和8年4月14日
高等学校課

1 特色入学者選抜

(1) 概要

① 日程

出願期間	令和8年1月26日及び27日
実施期日	令和8年2月 3日
合格発表	令和8年2月10日

② 特色入学者選抜実施校数等

	全日制課程	定時制課程
令和8年度	20校/22校	1校/4校
令和7年度	20校/22校	1校/4校

③ 全日制課程における受検者数等 () 内の数字は県外募集人員及び志願者数で内数

地区	募集定員	特色募集人員	志願者数	受検者数	実質競争率	入学確約者数	
東部	R8年度	1,514人	393人(29人)	299人(20人)	299人(20人)	0.76	279人(18人)
	R7年度	1,514人	373人(35人)	334人(12人)	332人(11人)	0.89	283人(11人)
中部	R8年度	694人	208人(39人)	257人(29人)	257人(29人)	1.24	201人(19人)
	R7年度	694人	200人(39人)	273人(11人)	272人(11人)	1.36	197人(9人)
西部	R8年度	1,520人	344人(30人)	397人(22人)	396人(22人)	1.15	319人(19人)
	R7年度	1,520人	344人(30人)	486人(15人)	485人(15人)	1.41	317人(11人)
計	R8年度	3,728人	945人(98人)	953人(71人)	952人(71人)	1.01	799人(56人)
	R7年度	3,728人	917人(104人)	1,093人(38人)	1,089人(38人)	1.19	797人(31人)

※募集定員に占める特色入試募集人員の割合 **25.3%** (令和7年度24.6%)

(2) 特色入学者選抜の検査内容等について (面接又は口頭試問はすべての実施校で実施)

検査内容	学校数	学校
学力検査	3校	鳥取工業…数学 青谷…国語、社会、数学、理科、英語から志願者が3教科を選択 八頭…スポーツ活動特色選抜、特別活動特色選抜ともに国語、数学、英語
作文	11校	鳥取緑風、岩美、智頭農林、倉吉東、倉吉農業、倉吉総合産業、鳥取中央育英、米子南、境、境港総合技術、日野
小論文	2校	鳥取商業、倉吉西
プレゼンテーション	6校	鳥取西、鳥取湖陵、八頭 (特別活動特色選抜)、米子西、米子、日野
実技検査	3校	八頭 (スポーツ活動特色選抜)、鳥取中央育英 (スポーツ活動特色選抜)、米子工業

2 一般入学者選抜

(1) 日程

	一般入学者選抜	再募集入学者選抜
出願期間	令和8年2月16日から18日	令和8年3月19日及び23日
実施期日	令和8年3月5日及び6日	令和8年3月25日
追検査	令和8年3月11日	—
合格発表	令和8年3月16日	令和8年3月26日

(2) 実施校数等

①一般入学者選抜

	全日制課程	定時制課程
令和8年度	22校42科6コース	4校4科
令和7年度	22校42科6コース	4校4科

※ 学力検査の結果については【別冊】のとおり

②追検査

	全日制課程	定時制課程
令和8年度	7校6科1コース	0校0科
令和7年度	3校2科1コース	1校1科

③再募集入学者選抜

	全日制課程	定時制課程
令和8年度	18校35科2コース	4校4科
令和7年度	18校29科2コース	4校4科

(3) 全日制課程における一般入学者選抜受検者数等

地区		募集定員	一般入試 実質募集定員	学力検査 受検者数 (※)	合格者数
東部	R8年度	1,514人	1,238人	941人	900人
	R7年度	1,514人	1,235人	1,038人	1,010人
中部	R8年度	694人	497人	337人	333人
	R7年度	694人	498人	381人	377人
西部	R8年度	1,520人	1,202人	956人	926人
	R7年度	1,520人	1,203人	1,085人	997人
計	R8年度	3,728人	2,937人	2,234人	2,159人
	R7年度	3,728人	2,936人	2,504人	2,384人
	増減	0人	1人	△270人	△225人

※ 「学力検査受検者数」は、追検査受検者数も含む。

(4) 追検査受検者数等

		全日制課程	定時制課程	計
東部	R8年度	3人	0人	3人
	R7年度	2人	0人	2人
中部	R8年度	3人	0人	3人
	R7年度	1人	0人	1人
西部	R8年度	5人	0人	5人
	R7年度	1人	1人	2人
計	R8年度	11人	0人	11人
	R7年度	4人	1人	5人

(5) 再募集入学者選抜受検者数・合格者数等

		全日制 受検者	定時制 受検者	受検者 計	全日制 合格者	定時制 合格者	合格者 計
東部	R8年度	7人	4人	11人	6人	1人	7人
	R7年度	9人	6人	15人	2人	4人	6人
中部	R8年度	4人	0人	4人	2人	0人	2人
	R7年度	4人	1人	5人	2人	1人	3人
西部	R8年度	4人	1人	5人	2人	0人	2人
	R7年度	6人	5人	11人	4人	4人	8人
計	R8年度	15人	5人	20人	10人	1人	11人
	R7年度	19人	12人	31人	8人	9人	17人

3 通信制入学者選抜

学校名	受検者数	合格者数
鳥取緑風	20	20
米子白鳳	47	47
合計	67	67

令和8年度鳥取県立高等学校入学者選抜
学力検査結果（得点状況等）

鳥取県教育委員会

令和8年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和8年度	27.7	24.7	27.1	28.5	27.6	135.6

令和8年度入学者選抜学力検査受検者数 2, 223人
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去16年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和7年度	26.8	28.7	26.6	23.7	27.2	133.0
令和6年度	31.5	23.9	23.8	27.0	25.4	131.5
令和5年度	30.9	31.8	26.9	26.0	28.2	143.8
令和4年度	31.8	24.7	26.7	28.2	25.8	137.1
令和3年度	29.0	35.3	24.4	27.0	28.7	144.4
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3

2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語
0	～ 2	1	2	4	4	1
3	～ 4	4	8	31	8	7
5	～ 6	7	19	41	19	35
7	～ 8	31	29	59	45	59
9	～ 10	38	68	69	46	74
11	～ 12	49	91	70	83	102
13	～ 14	58	114	84	81	106
15	～ 16	79	149	91	95	90
17	～ 18	100	164	106	102	106
19	～ 20	126	160	79	108	100
21	～ 22	145	157	111	117	93
23	～ 24	157	167	94	107	87
25	～ 26	153	169	116	119	110
27	～ 28	175	150	118	121	100
29	～ 30	168	128	172	145	139
31	～ 32	183	131	158	133	141
33	～ 34	197	109	157	122	161
35	～ 36	187	121	162	151	143
37	～ 38	132	110	168	134	140
39	～ 40	107	59	134	133	134
41	～ 42	77	57	85	114	110
43	～ 44	25	39	57	92	86
45	～ 46	18	17	28	84	56
47	～ 48	5	3	18	48	34
49	～ 50	1	1	11	11	9
受検者数		2,223	2,222	2,223	2,222	2,223

【総得点における度数分布】

総得点	人数	
0	～ 5	0
6	～ 10	0
11	～ 15	1
16	～ 20	3
21	～ 25	0
26	～ 30	3
31	～ 35	6
36	～ 40	19
41	～ 45	18
46	～ 50	23
51	～ 55	32
56	～ 60	42
61	～ 65	43
66	～ 70	39
71	～ 75	53
76	～ 80	51
81	～ 85	55
86	～ 90	54
91	～ 95	66
96	～ 100	63
101	～ 105	74
106	～ 110	56
111	～ 115	74
116	～ 120	63
121	～ 125	68

総得点	人数	
126	～ 130	72
131	～ 135	72
136	～ 140	68
141	～ 145	80
146	～ 150	75
151	～ 155	87
156	～ 160	79
161	～ 165	77
166	～ 170	96
171	～ 175	85
176	～ 180	94
181	～ 185	91
186	～ 190	70
191	～ 195	68
196	～ 200	64
201	～ 205	41
206	～ 210	43
211	～ 215	20
216	～ 220	18
221	～ 225	9
226	～ 230	5
231	～ 235	2
236	～ 240	1
241	～ 245	0
246	～ 250	0
受検者数		2,223

令和8年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査の出題のねらいと分析

【 国 語 】

＜出題のねらい＞

基礎的・基本的な言語事項を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。

＜分析＞

- ・基礎的・基本的な言語事項を問う問題において、漢字の書きを問う問題は、文脈に即して意味に注意しながら漢字を正しく使うことに課題がある。語句の知識を問う問題は、ことわざや故事成語の理解に課題があり、正答率も5割に満たなかった。文法の知識を問う問題は、主述の関係を捉えることや用言の活用の理解が不十分だった。
- ・文学的な文章において、場面と場面を結び付けて内容を理解する力や、表現と文脈に即して登場人物の心情を読み取り、条件に合わせて解答する力に課題がある。
- ・説明的な文章において、文脈に即して内容を理解し、的確に表現する力に課題がある。また、文章と図の関係や、文章の構成を理解する問題について、正答率が5割に満たなかった。
- ・古文において、文脈に即して適切な解釈を選ぶ問題について、正答率がやや低かった。
- ・作文において、自分の考えが伝わる文章になるように、与えられた条件に従い、根拠を明確にして書くことに課題がある。
- ・正しく読み書きする基本となる文法の分野において、文の成分や単語の活用について正しく理解する必要がある。
- ・文学的な文章において、複数の場面を相互に結び付けたり、各場面と描写とを結び付けたりすることによって、読み取った内容を条件に合わせて的確に表現する力が求められる。
- ・説明的な文章において、文章中に示されている具体例と、筆者の主張との関係を考えながら内容を理解しようとする姿勢が求められる。

【 社 会 】

＜出題のねらい＞

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料等を適切に読み取り、思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題した。

＜分析＞

- ・基本的な知識や概念の理解を問う問題について、例年と比較した際の正答率が低かった。
- ・例年に比べて無答数が非常に少なかった。
- ・社会的な見方・考え方を働かせながら、既習の知識を活用し、資料等を読み取り思考する問題については、正答率が低かった。
- ・地理的分野における、地域的特色を踏まえ、降水量を比較し判断する問題について、正答率が低かった。（雨温図の読み取りに関する問題の正答率は例年低くなっている。）
- ・歴史的分野における、並べ替え問題の正答率は昨年より高かったが、歴史的なできごとと資料を関連付ける問題については、例年と同様に課題がみられた。
- ・地理的分野では、世界や日本の地域的特色や課題、各地域の結び付き等に着目し、多面的・多角的に考察する力が求められる。
- ・歴史的分野では、世界の歴史を背景に各時代の特色を適切に理解することが必要である。特に近現代においては、世界の動きとの関連に着目しながら、社会の変化の様子を的確に捉えることが重要である。
- ・公民的分野では、現代の社会生活や国際社会の動向と関連付けながら、課題について公正に判断し、表現する力が必要である。
- ・小学校での学びや三分野相互、他教科・他領域との関連等も踏まえ、持続可能な社会に寄与する公民としての資質・能力を育成する授業づくりが求められる。

【 数 学 】

＜出題のねらい＞

基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、既習の基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる問題、数学的な見方・考え方を働かせて論理的に考察する力をみる問題を出題した。

＜分析＞

- ・基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高く、学習の成果がみられる。
- ・等式を変形する問題、必要な情報を整理して立式する問題、問題の意図をくみ取って解答する問題の正答率が低かった。
- ・基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図り、それらを基に根拠や理由に着目して考えさせる指導や、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決を図る学習過程を、より充実させていくことが重要である。
- ・令和7年度全国学力・学習状況調査にみられる課題（本県）となっている、条件を変えた問題に対応する力の育成を意識した授業づくりが必要である。

【 理 科 】

＜出題のねらい＞

理科については、基礎的・基本的な知識を問う問題や、観察・実験の結果を読み取り考察する問題を出題した。

＜分析＞

- ・重要語句等の知識を問う問題の正答率は例年並みに高く、作図や思考力を問う選択問題で正答率も上昇し、平均点は昨年度より上がった。しかし、身近な自然の事物・現象に関する基本的な知識を問う問題で、正答率の低いものが見られた。身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、日常的な体験と関連付けて科学的に探究する態度を育てたい。
- ・文章による説明を求める問題で無答率が増えるなど、表現する力に課題が見られた。観察、実験で得られたデータを分析し、根拠を明らかにして説明したり、グラフ等を用いて論理的に相手に伝え、対話することで、自らの考えをより深めたりする活動の充実が求められる。
- ・与えられた条件や実験結果などから推測し、変化の過程や、結果を求めることは一定の成果が見られたが、規則性や関係性を見だし表現する力に課題が見られた。授業において、生徒自身が問題を見だし、自ら進んで探究する活動を行い、分析して解釈することを通して規則性を見だししたり、課題を解決したりする学習活動が大切である。

【 英 語 】

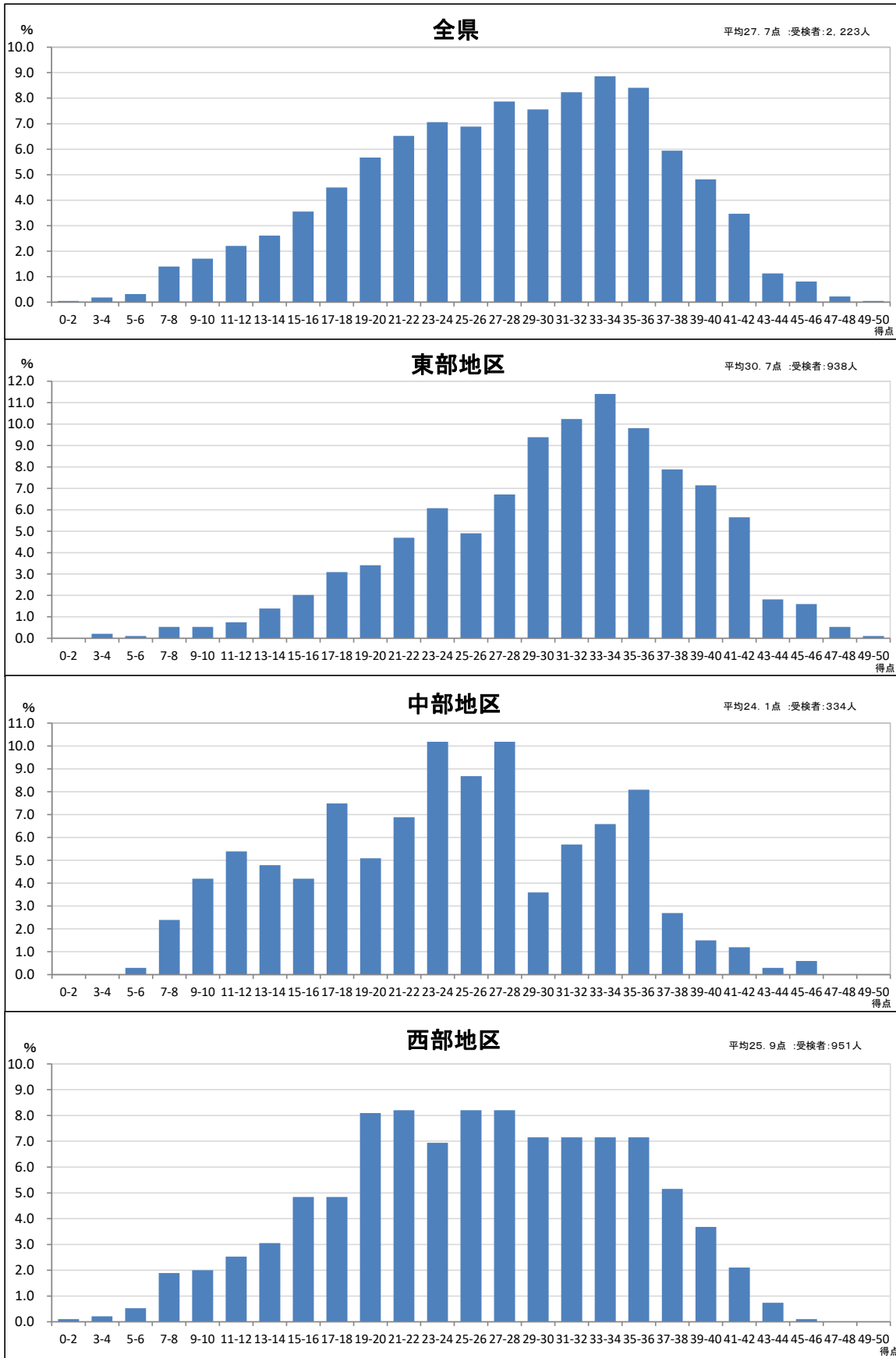
＜出題のねらい＞

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話や、日常的及び社会的な話題に関するまとまりのある文章を題材に出題した。

＜分析＞

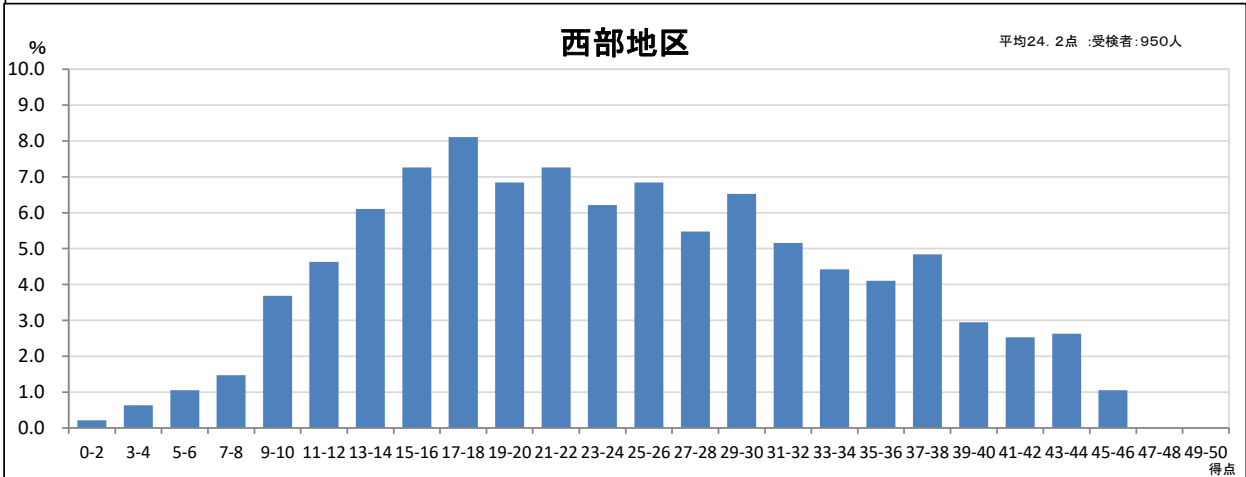
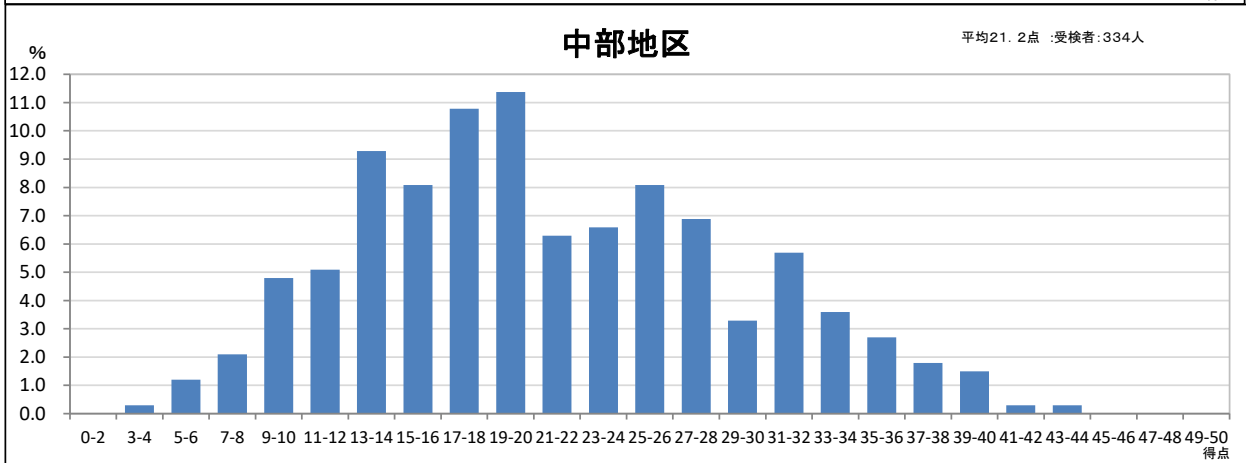
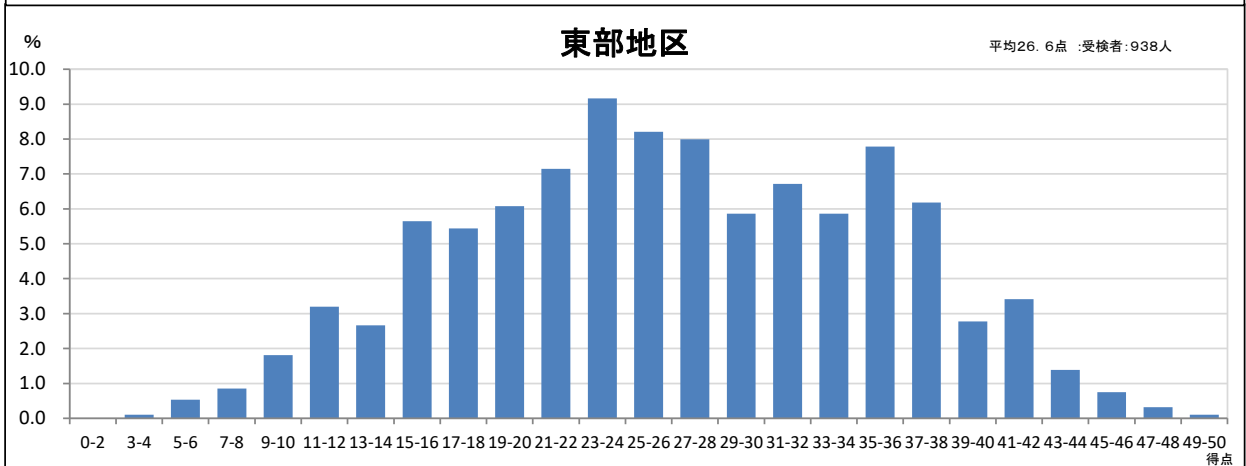
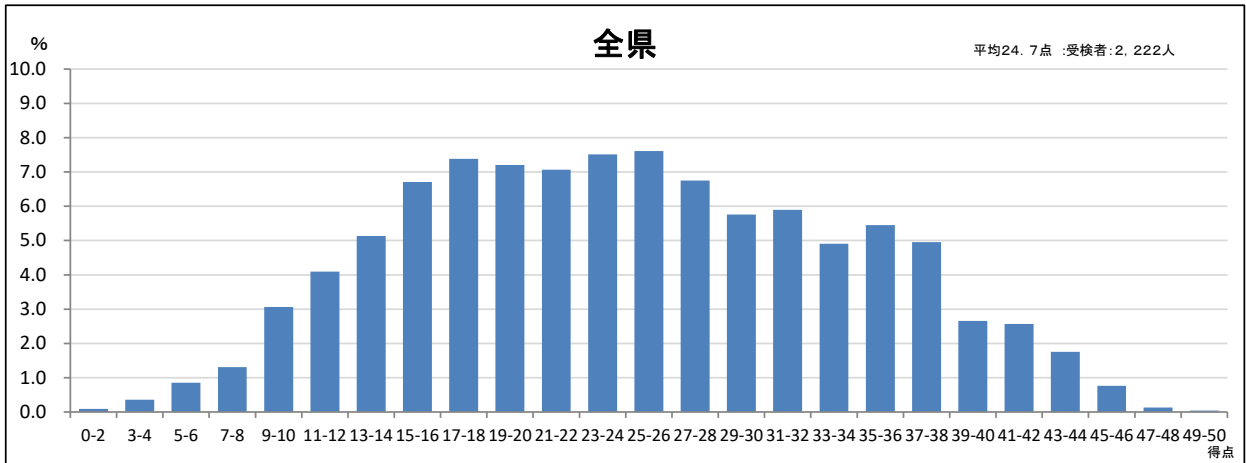
- ・英文を聞いたり読んだりして、答えにつながるキーワード等を参考にしながら情報や要点を捉える問題や、複数の情報を整理・統合し的確に理解する問題の正答率は高かった。しかし、聞き取った内容をふまえて場面に応じた英文を書く問題や、知識・技能を活用して文を完成したり、自分の考えを表現したりする問題の正答率は低かった。
- ・今後は、普段の授業において、深い理解につなげるための「聞くこと」「読むこと」における活動の工夫や、考えや情報などを適切に表現するための言語面の正確さを高める指導、及び複数の領域を統合した言語活動の充実が求められる。

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



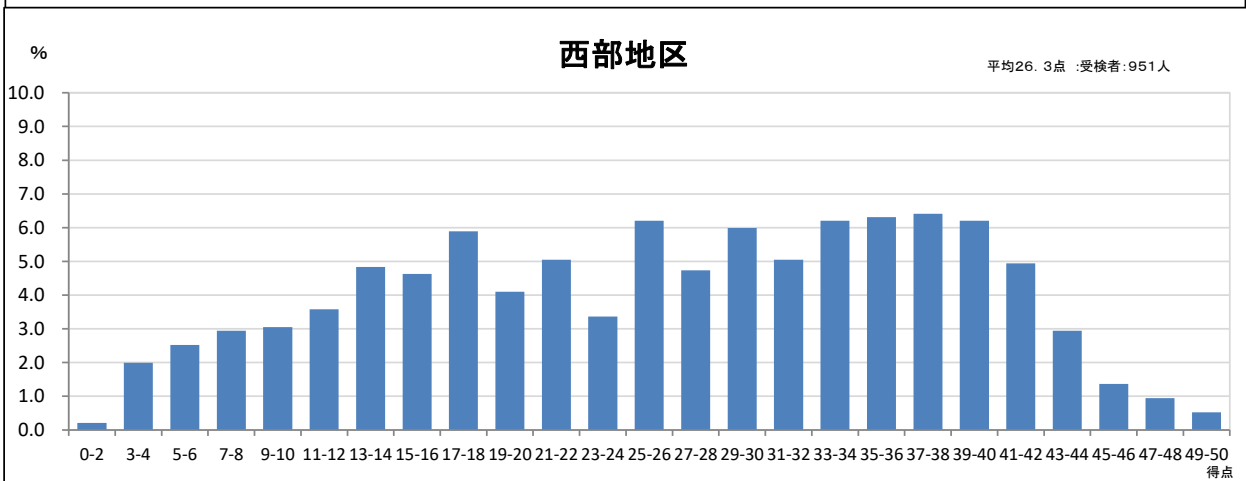
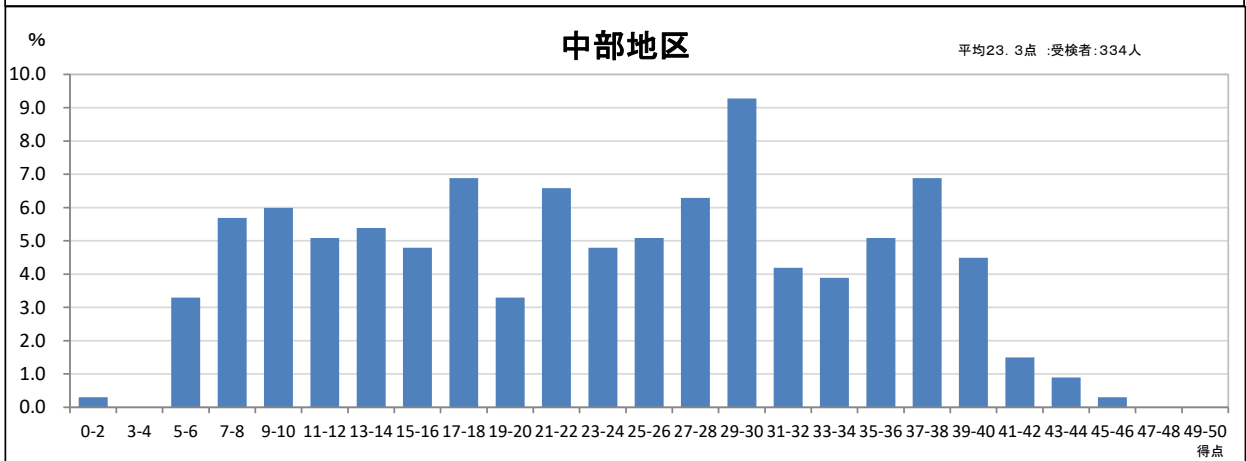
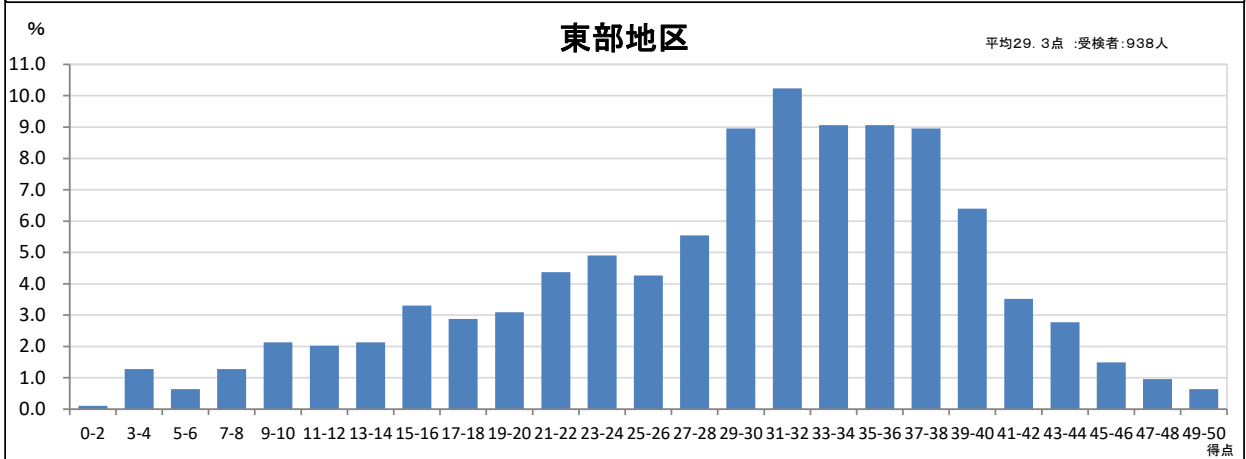
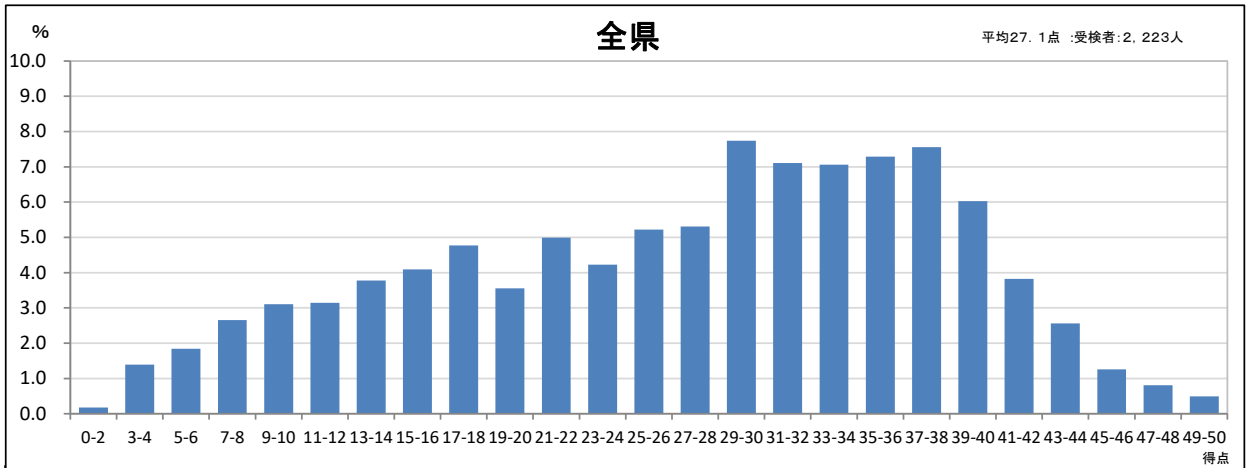
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



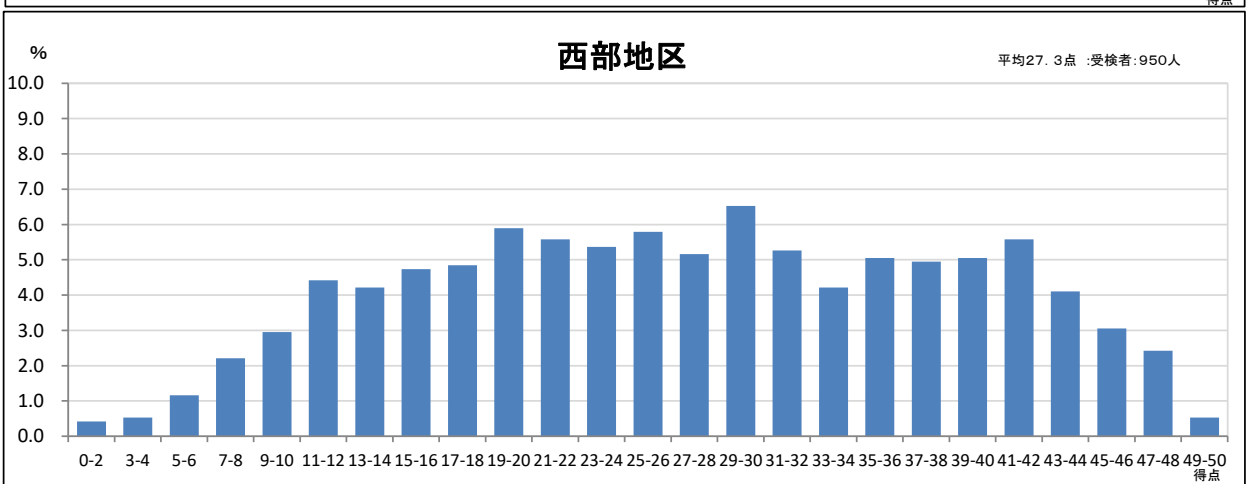
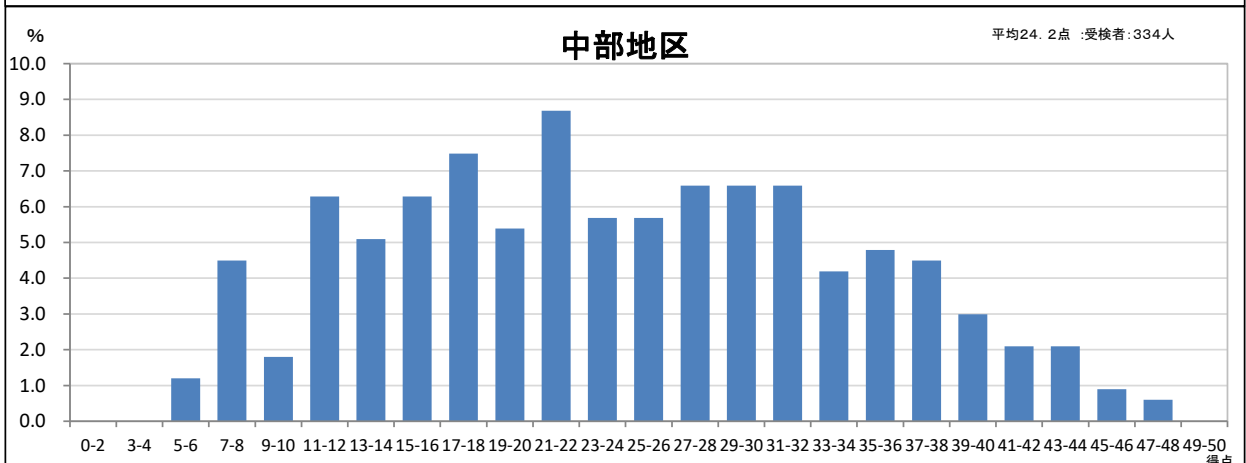
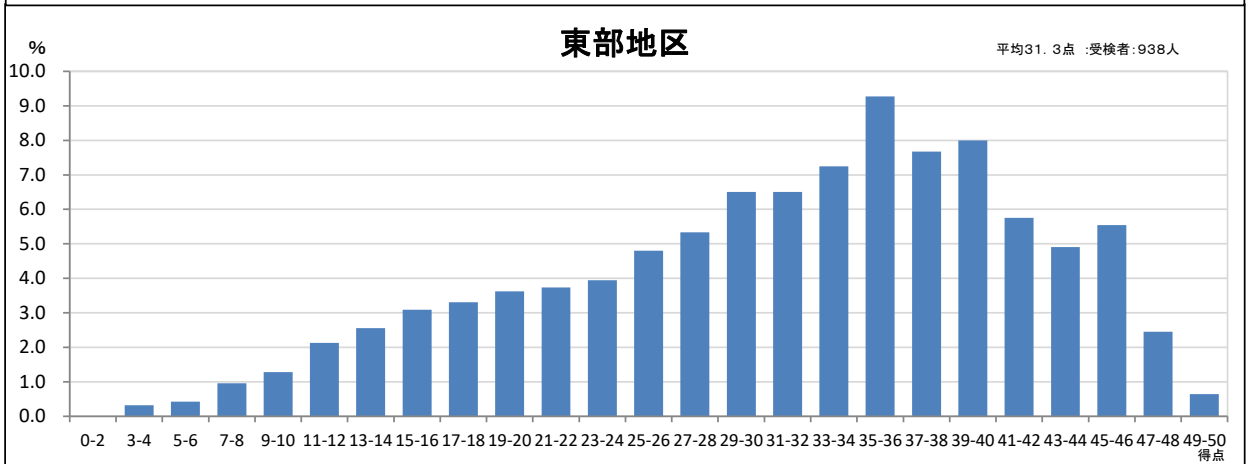
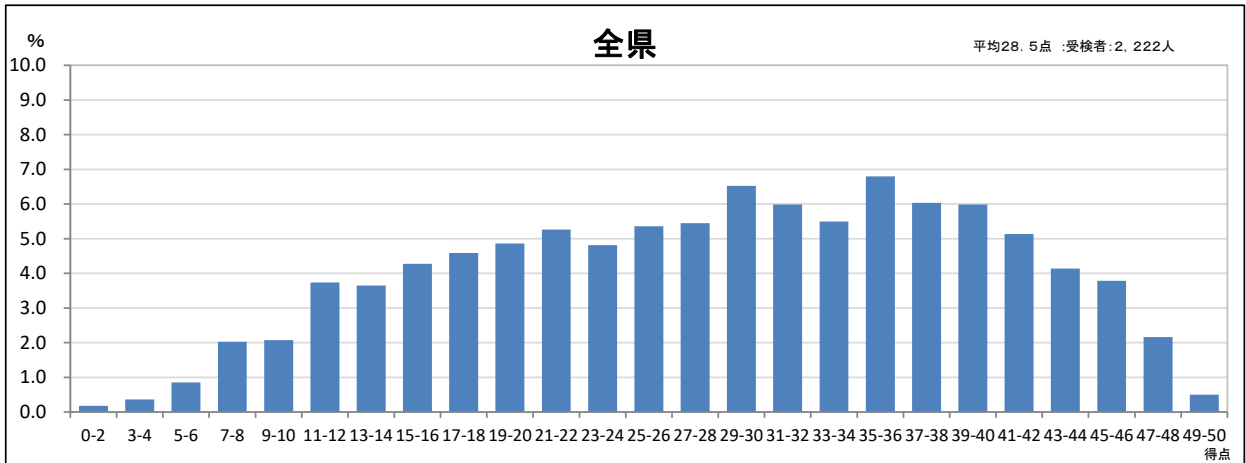
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



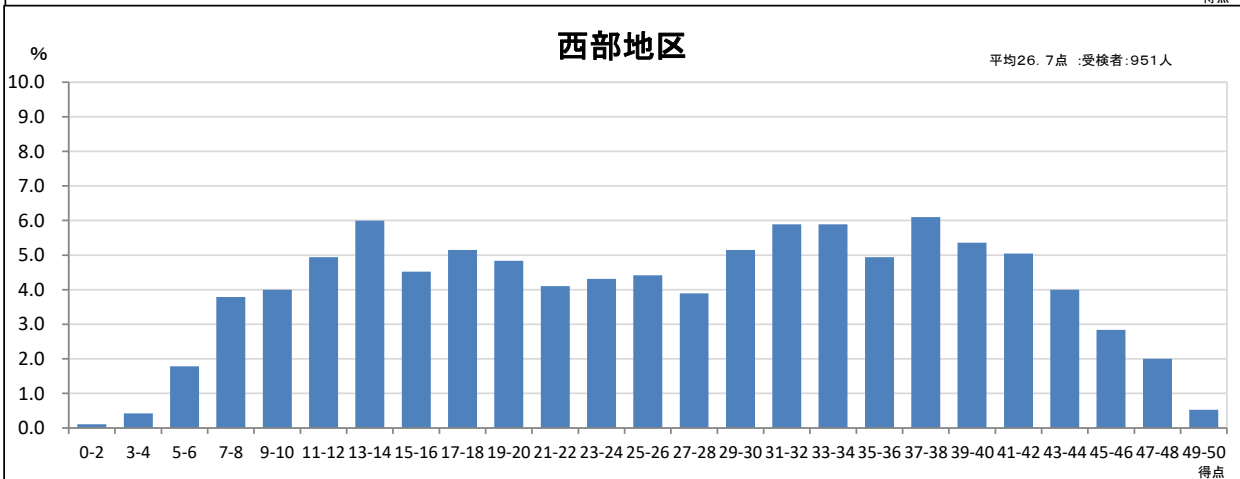
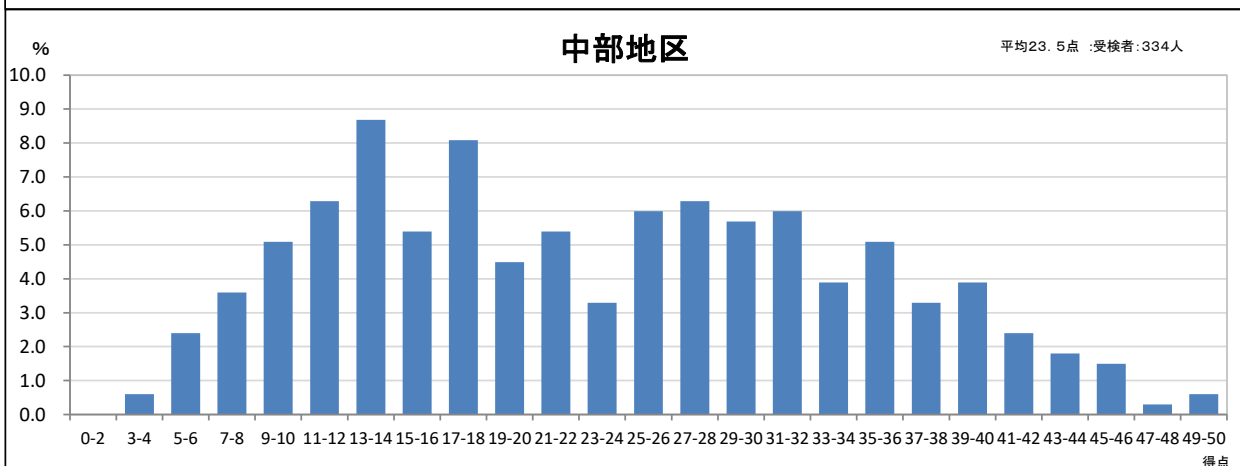
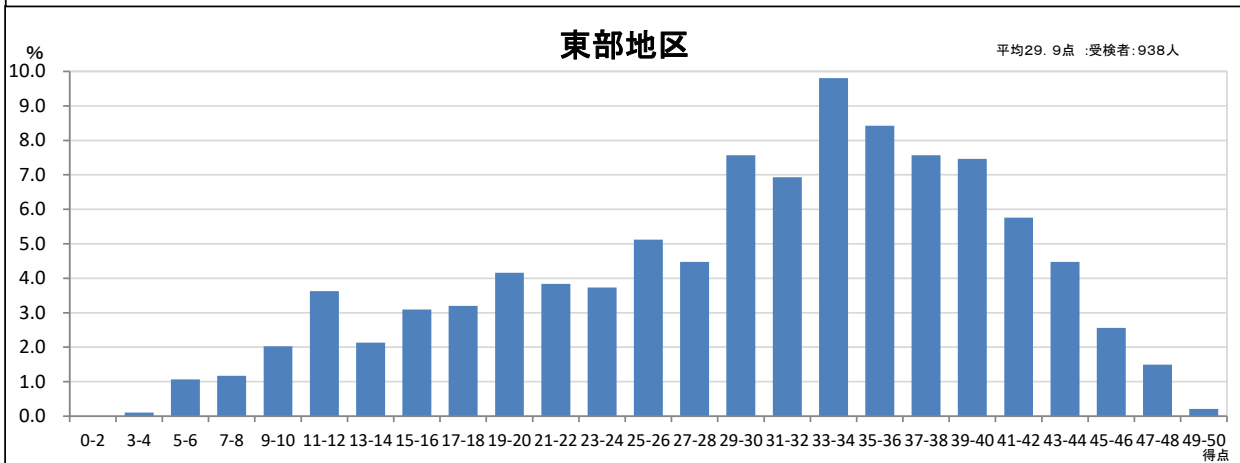
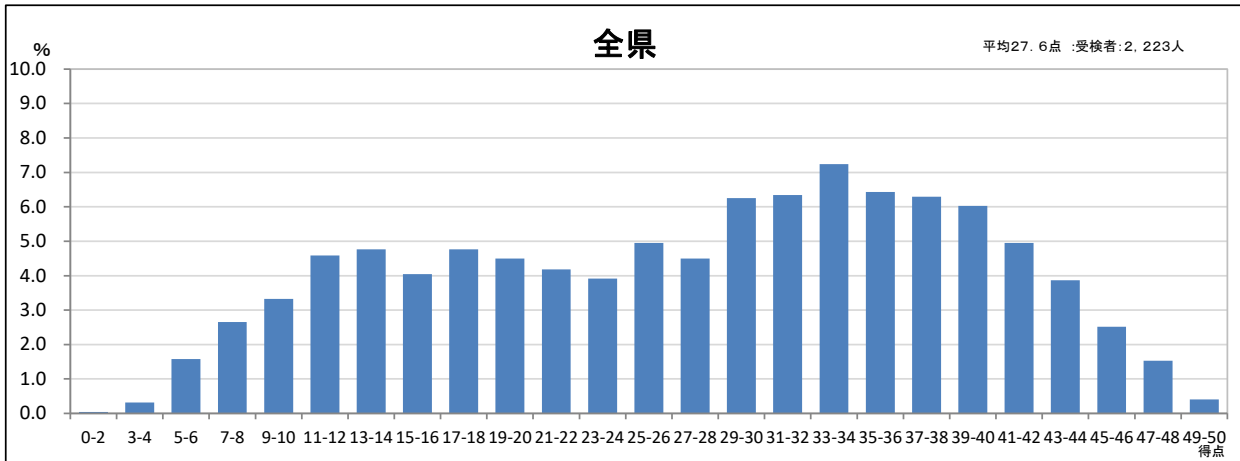
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



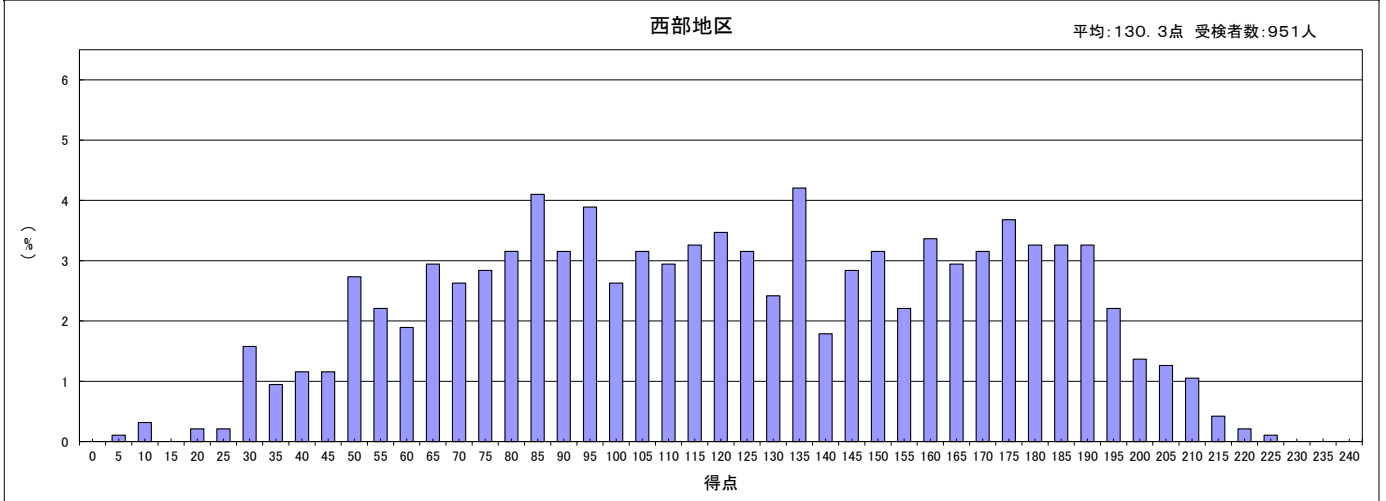
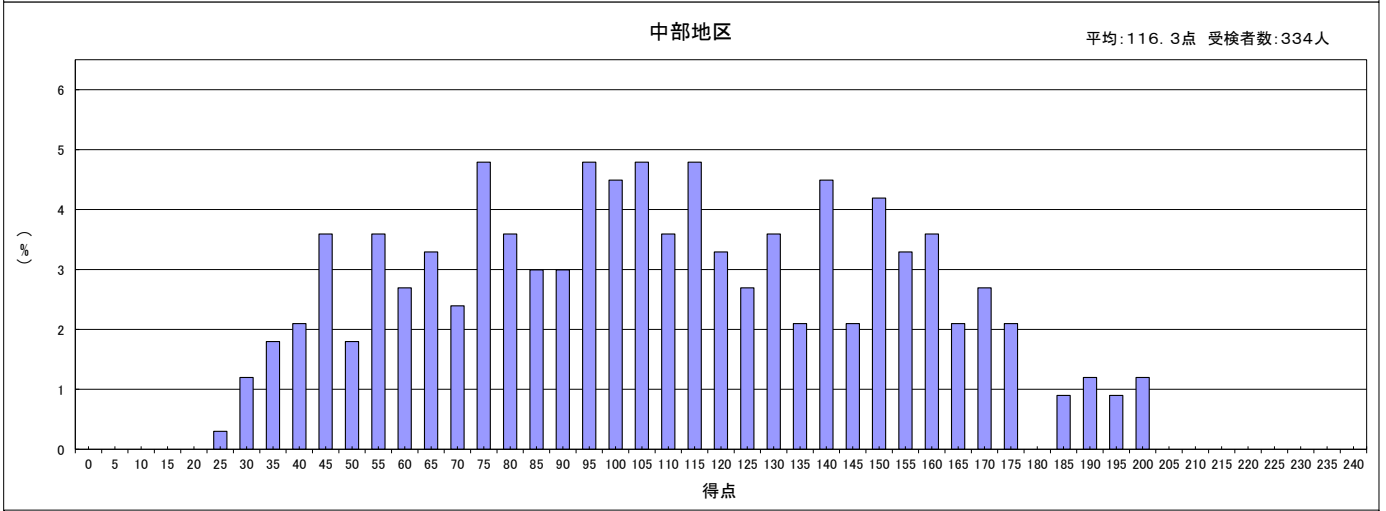
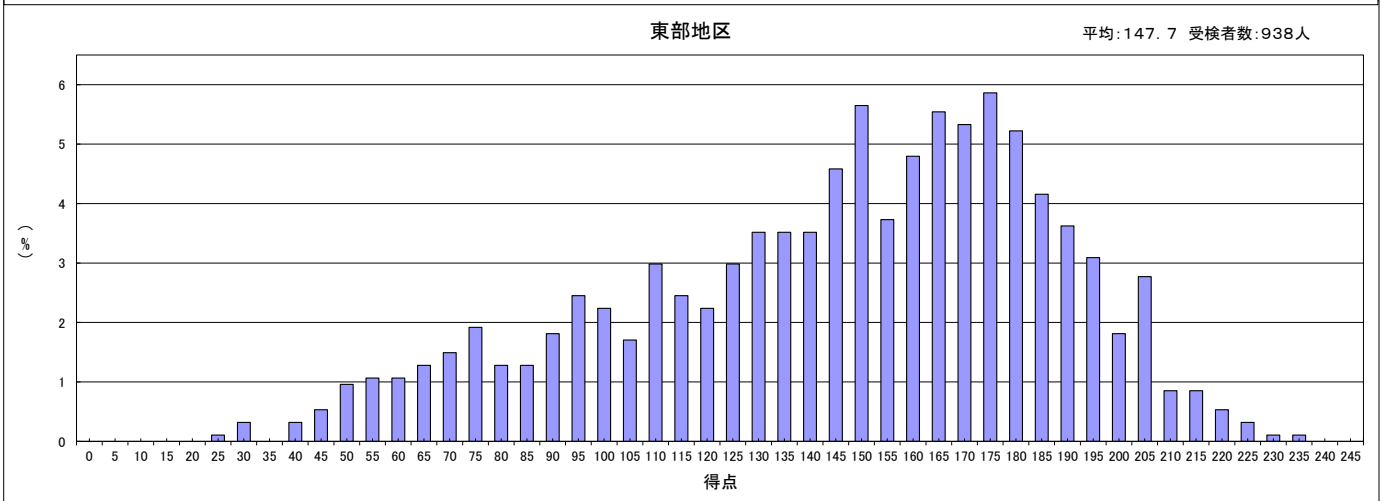
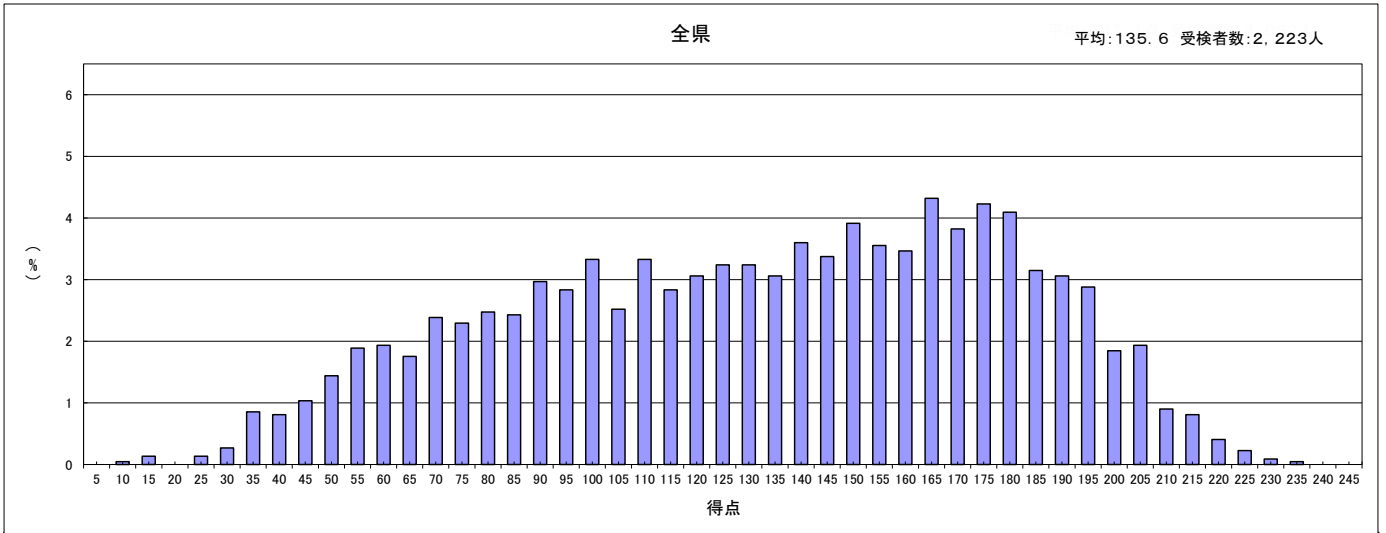
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：133）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題一	問一	(1)	漢字の読み	記述	131	98.5%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%
		(2)	漢字の読み	記述	89	66.9%	0	0.0%	34	25.6%	10	7.5%
		(3)	漢字の書き	記述	64	48.1%	0	0.0%	47	35.3%	22	16.5%
		(4)	漢字の書き	記述	96	72.2%	0	0.0%	32	24.1%	5	3.8%
	問二	語句の知識	記号	64	48.1%	0	0.0%	69	51.9%	0	0.0%	
	問三	書写の知識	記号	76	57.1%	0	0.0%	57	42.9%	0	0.0%	
	問四	(1)	文法の知識	記述	63	47.4%	0	0.0%	63	47.4%	7	5.3%
		(2)	文法の知識	記述	47	35.3%	0	0.0%	57	42.9%	29	21.8%
問五	漢文の知識	記述	103	77.4%	0	0.0%	20	15.0%	10	7.5%		
問題二	問一	内容の理解	記号	114	85.7%	0	0.0%	19	14.3%	0	0.0%	
	問二	内容の理解	記号	116	87.2%	0	0.0%	17	12.8%	0	0.0%	
	問三	内容の理解	記述	44	33.1%	0	0.0%	40	30.1%	49	36.8%	
	問四	内容の理解	記述	16	12.0%	68	51.1%	30	22.6%	19	14.3%	
	問五	(1)	表現の理解	記号	107	80.5%	0	0.0%	25	18.8%	1	0.8%
		(2)	表現の理解	記述	94	70.7%	0	0.0%	22	16.5%	17	12.8%
(3)		表現の理解	記号	86	64.7%	0	0.0%	46	34.6%	1	0.8%	
問題三	問一	語句の知識	記号	122	91.7%	0	0.0%	11	8.3%	0	0.0%	
	問二	内容の理解	記述	31	23.3%	46	34.6%	32	24.1%	24	18.0%	
	問三	内容の理解	記号	57	42.9%	0	0.0%	74	55.6%	2	1.5%	
	問四	内容の理解	記号	65	48.9%	0	0.0%	67	50.4%	1	0.8%	
	問五	内容の理解	記述	72	54.1%	0	0.0%	35	26.3%	26	19.5%	
	問六	内容の理解	記述	16	12.0%	15	11.3%	63	47.4%	39	29.3%	
問題四	問一	(1)	古文の知識	記述	102	76.7%	0	0.0%	27	20.3%	4	3.0%
		(2)	内容の理解	記号	80	60.2%	0	0.0%	53	39.8%	0	0.0%
	問二	内容の理解	記号	95	71.4%	0	0.0%	38	28.6%	0	0.0%	
	問三	内容の理解	記号	32	24.1%	0	0.0%	100	75.2%	1	0.8%	
	問四	内容の理解	記号	73	54.9%	0	0.0%	59	44.4%	1	0.8%	
問題五	問一	文章の推敲	記号	70	52.6%	0	0.0%	57	42.9%	6	4.5%	
	問二	文章の推敲	記述	38	28.6%	0	0.0%	75	56.4%	20	15.0%	
	問三	内容の理解	記号	66	49.6%	0	0.0%	57	42.9%	10	7.5%	
	問四	考えの形成と記述	記述	17	12.8%	58	43.6%	41	30.8%	17	12.8%	

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】 答案数: 133

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	(1)	地域区分(フィリピンが属する州)	語句記述	86	64.7%	0	0.0%	45	33.8%	2	1.5%
		(2)	緯線(北緯20度と南緯20度)	記号選択	47	35.3%	0	0.0%	85	63.9%	1	0.8%
		(3)①	国の特徴(南アフリカ共和国、フランス)	記号選択	66	49.6%	0	0.0%	65	48.9%	2	1.5%
		(3)②	世界の鉱産資源(レアメタル)	語句記述	123	92.5%	0	0.0%	6	4.5%	4	3.0%
		(4)	ヨーロッパ諸国における周辺国とのつながり	説明	67	50.4%	28	21.1%	20	15.0%	18	13.5%
	(5)	発電電力量の推移と発電量の内訳	記号選択	35	26.3%	0	0.0%	97	72.9%	1	0.8%	
	問2	(1)①	日本列島周辺にみられる海流	記号選択	107	80.5%	0	0.0%	25	18.8%	1	0.8%
		(1)②	降水量からみる地域的特色	記号選択	24	18.0%	0	0.0%	109	82.0%	0	0.0%
		(2)①	日本の農業の特色(果実、米、畜産)	記号選択	120	90.2%	0	0.0%	13	9.8%	0	0.0%
		(2)②	千葉県における産業の特色	語句記述	47	35.3%	0	0.0%	83	62.4%	3	2.3%
(3)		輸送手段の変化	記号選択	69	51.9%	0	0.0%	62	46.6%	2	1.5%	
問題2	問1	(1)	仏教が伝わったことによる変化(仏教伝来の前後)	記号選択	79	59.4%	0	0.0%	53	39.8%	1	0.8%
		(2)	日本書紀が完成した時期	記号選択	34	25.6%	0	0.0%	99	74.4%	0	0.0%
		(3)	中尊寺金色堂と鹿苑寺金閣の比較	記号選択	29	21.8%	0	0.0%	102	76.7%	2	1.5%
		(4)①	鎌倉幕府における主従関係	記号選択	98	73.7%	0	0.0%	34	25.6%	1	0.8%
		(4)②	蒙古襲来時の日本の対応	語句記述	72	54.1%	0	0.0%	42	31.6%	19	14.3%
		(5)	江戸時代における米の取引(鳥取藩の財政)	説明	16	12.0%	5	3.8%	72	54.1%	40	30.1%
	問2	(1)	開国後のできごと	記号選択	67	50.4%	0	0.0%	65	48.9%	1	0.8%
		(2)	自由民権運動	記号選択 語句記述	43	32.3%	0	0.0%	83	62.4%	7	5.3%
		(3)	第一次世界大戦終了後の国際関係	記号選択	99	74.4%	0	0.0%	33	24.8%	1	0.8%
		(4)	諸外国と日本との国際関係	記号選択	25	18.8%	0	0.0%	107	80.5%	1	0.8%
		(5)	日本の植民地での政策	語句記述	22	16.5%	0	0.0%	90	67.7%	21	15.8%
		(6)	安全保障理事会における常任理事国の拒否権行使	記号選択	77	57.9%	0	0.0%	55	41.4%	1	0.8%
問題3	問1	(1)	税の種類(所得税と消費税)	記号選択	70	52.6%	0	0.0%	62	46.6%	1	0.8%
		(2)	国会と内閣、地方議会と地方公共団体の首長	記号選択	45	33.8%	0	0.0%	87	65.4%	1	0.8%
		(3)	シルバー民主主義についての考察	記号選択	115	86.5%	0	0.0%	17	12.8%	1	0.8%
		(4)	国際連合がおこなう活動	記号選択	90	67.7%	0	0.0%	42	31.6%	1	0.8%
		(5)	カーボンニュートラル	説明	27	20.3%	26	19.5%	73	54.9%	7	5.3%
	問2	(1)①	発展途上国の自立支援の取組	語句記述	86	64.7%	0	0.0%	33	24.8%	14	10.5%
		(1)②	インターネットを利用した売買契約	記号選択	79	59.4%	0	0.0%	52	39.1%	2	1.5%
		(1)③	金融のしくみ	記号選択	54	40.6%	0	0.0%	76	57.1%	3	2.3%
		(1)④	公共の福祉による人権の制限	記号選択	109	82.0%	0	0.0%	22	16.5%	2	1.5%
		(2)①	株式会社や株式市場	記号選択	81	60.9%	0	0.0%	49	36.8%	3	2.3%
(2)②	市場のしくみと価格決定	記号選択	88	66.2%	0	0.0%	41	30.8%	4	3.0%		

【数学】（答案数：133）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	短答	129	97.0%	0	0.0%	4	3.0%	0	0.0%
		(2) 正の数・負の数の四則計算	短答	109	82.0%	0	0.0%	22	16.5%	2	1.5%
		(3) 平方根の計算	短答	103	77.4%	0	0.0%	24	18.0%	6	4.5%
		(4) 単項式の計算	短答	95	71.4%	0	0.0%	33	24.8%	5	3.8%
	問2	因数分解(和と差の積)	短答	112	84.2%	0	0.0%	14	10.5%	7	5.3%
	問3	連立方程式	短答	107	80.5%	0	0.0%	20	15.0%	6	4.5%
	問4	二次方程式(解の公式)	短答	100	75.2%	0	0.0%	22	16.5%	11	8.3%
	問5	等式の変形(bについて解く)	短答	48	36.1%	0	0.0%	45	33.8%	40	30.1%
	問6	球の体積	短答	67	50.4%	0	0.0%	54	40.6%	12	9.0%
	問7	確率(2つのさいころ、素数)	短答	55	41.4%	3	2.3%	60	45.1%	15	11.3%
	問8	一次関数の式を求めること	短答	63	47.4%	0	0.0%	35	26.3%	35	26.3%
	問9	無理数の判別	選択	101	75.9%	0	0.0%	31	23.3%	1	0.8%
	問10	1つの外角から正多角形を求めること	短答	88	66.2%	0	0.0%	33	24.8%	12	9.0%
	問11	(1) 一次方程式の立式	記述	43	32.3%	0	0.0%	51	38.3%	39	29.3%
(2) 一次方程式を解き、解を求めること		短答	66	49.6%	0	0.0%	32	24.1%	35	26.3%	
問12	(1)a 直角三角形の合同【証明】	選択	121	91.0%	0	0.0%	11	8.3%	1	0.8%	
	(1)b 直角三角形の合同【証明】	選択	95	71.4%	0	0.0%	35	26.3%	3	2.3%	
	(2) 直角三角形の合同【証明】	記述	55	41.4%	0	0.0%	67	50.4%	11	8.3%	
問13	30°の作図	作図	37	27.8%	5	3.8%	59	44.4%	32	24.1%	
問題2	問1	中央値	短答	111	83.5%	0	0.0%	19	14.3%	3	2.3%
	問2	四分位範囲	短答	75	56.4%	0	0.0%	44	33.1%	14	10.5%
	問3	箱ひげ図の判別	選択	94	70.7%	14	10.5%	23	17.3%	2	1.5%
	問4	箱ひげ図から読み取る	選択	41	30.8%	81	60.9%	11	8.3%	0	0.0%
問題3	問1	aの値 関数 $y = ax^2$ の式	短答	81	60.9%	0	0.0%	33	24.8%	19	14.3%
		y座標 座標	短答	101	75.9%	0	0.0%	17	12.8%	15	11.3%
	問2	座標軸上のできる三角形の面積	短答	69	51.9%	0	0.0%	37	27.8%	27	20.3%
	問3	等積変形	短答	5	3.8%	25	18.8%	26	19.5%	77	57.9%
問4	三角形の面積、方程式	短答	11	8.3%	0	0.0%	50	37.6%	72	54.1%	
問題4	問1	いろいろな関数	短答	125	94.0%	0	0.0%	1	0.8%	7	5.3%
	問2	a 規則性(二次式)	短答	89	66.9%	0	0.0%	29	21.8%	15	11.3%
		b 規則性(二次式)	短答	55	41.4%	0	0.0%	48	36.1%	30	22.6%
	問3	二次方程式(因数分解)	短答	79	59.4%	0	0.0%	29	21.8%	25	18.8%
問4	規則性、いろいろな関数、二次方程式	短答	4	3.0%	0	0.0%	78	58.6%	51	38.3%	
問題5	問1	回転体の体積	短答	68	51.1%	0	0.0%	44	33.1%	21	15.8%
	問2	回転体の体積(軸から離れた図形の回転)	短答	66	49.6%	0	0.0%	41	30.8%	26	19.5%
	問3	折り曲げた長方形の回転体	短答	17	12.8%	0	0.0%	49	36.8%	67	50.4%
	問4	条件を変え、折り曲げた長方形の回転体	短答	8	6.0%	0	0.0%	54	40.6%	71	53.4%

令和8年度 鳥取県高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】(答案数:133)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	ヒトの目のつくり	記述 記号+語句	45	33.8%	0	0.0%	76	57.1%	12	9.0%
	問2	うでの筋肉の動き	選択 記号選択	96	72.2%	0	0.0%	37	27.8%	0	0.0%
	問3	刺激に対する反応の伝達経路	選択 記号選択	42	31.6%	0	0.0%	91	68.4%	0	0.0%
	問4(1)	刺激に対する反射の伝達経路	記述 説明	46	34.6%	0	0.0%	77	57.9%	10	7.5%
	問4(2)	刺激の受容と感覚	記号 記号選択	35	26.3%	0	0.0%	98	73.7%	0	0.0%
問題2	問1	1種類の元素からなる物質	記述 語句	74	55.6%	0	0.0%	51	38.3%	8	6.0%
	問2	鉄と硫黄の反応による生成物	記述 語句	83	62.4%	0	0.0%	37	27.8%	13	9.8%
	問3	熱を発生する反応	記述 語句	98	73.7%	0	0.0%	25	18.8%	10	7.5%
	問4(A)	気体の発生と性質(水素)	記号 記号選択	50	37.6%	0	0.0%	82	61.7%	1	0.8%
	問4(B)	気体の発生と性質(硫化水素)	記号 記号選択	60	45.1%	0	0.0%	73	54.9%	0	0.0%
	問5	化学反応における量的関係	記述 作図	17	12.8%	0	0.0%	86	64.7%	30	22.6%
問題3	問1	震源と震央	記述 語句	98	73.7%	0	0.0%	30	22.6%	5	3.8%
	問2(1)	初期微動継続時間の読取	記述 計算	111	83.5%	0	0.0%	19	14.3%	3	2.3%
	問2(2)	地震の発生時刻	記述 計算	77	57.9%	0	0.0%	42	31.6%	14	10.5%
	問3(1)	液化化と物体の挙動	記号 記号選択	114	85.7%	0	0.0%	18	13.5%	1	0.8%
	問3(2)	液化化のしくみ	記述 説明	30	22.6%	0	0.0%	82	61.7%	21	15.8%
問題4	問1	音の発生源	記述 語句	108	81.2%	0	0.0%	18	13.5%	7	5.3%
	問2(1)	音と振動数	記述 計算	40	30.1%	0	0.0%	76	57.1%	17	12.8%
	問2(2)	音の大きさと波の振幅	記号 記号選択	82	61.7%	0	0.0%	49	36.8%	2	1.5%
	問2(3)	音の高さを決める条件	記号 記号選択	83	62.4%	0	0.0%	49	36.8%	1	0.8%
	問4	音のはね返り	記述 計算	46	34.6%	1	0.8%	76	57.1%	10	7.5%
問題5	問1(1)	受精卵と発生の過程	記号 記号選択	119	89.5%	0	0.0%	14	10.5%	0	0.0%
	問1(2)	細胞分裂と胚の成長	記述 語句	89	66.9%	0	0.0%	26	19.5%	18	13.5%
	問2(あ)	有性生殖における染色体の受けつがれ方	記号 記号選択	92	69.2%	0	0.0%	38	28.6%	3	2.3%
	問2(い)	無性生殖における染色体の受けつがれ方	記号 記号選択	106	79.7%	0	0.0%	25	18.8%	2	1.5%
	問3(1)	生態系を構成する生物と食物連鎖	記号 記号選択	112	84.2%	0	0.0%	21	15.8%	0	0.0%
	問3(2)	生態系の変化と復元	記号 記号選択	88	66.2%	0	0.0%	41	30.8%	4	3.0%
問題6	問1	塩化水素の電離	記述 反応式	84	63.2%	0	0.0%	30	22.6%	19	14.3%
	問2	水溶液中のイオンと液性	記号 記号選択	81	60.9%	0	0.0%	51	38.3%	1	0.8%
	問3	電気分解と気体の性質	記述 説明	65	48.9%	0	0.0%	38	28.6%	30	22.6%
	問4	溶液の希釈	記述 計算	22	16.5%	0	0.0%	72	54.1%	39	29.3%
問題7	問1	天体の分類	記述 語句	82	61.7%	0	0.0%	37	27.8%	14	10.5%
	問2	月の動き	記号 記号選択	62	46.6%	0	0.0%	69	51.9%	2	1.5%
	問3	太陽系天体の位置関係	記号 記号選択	56	42.1%	0	0.0%	75	56.4%	2	1.5%
	問4	月食がおこるしくみ	記号 記号選択	81	60.9%	0	0.0%	51	38.3%	1	0.8%
問題8	問1(1)	斜面を移動する物体の運動	記号 記号選択	72	54.1%	0	0.0%	59	44.4%	2	1.5%
	問1(2)	力学的エネルギーの保存	記述 計算	31	23.3%	0	0.0%	71	53.4%	31	23.3%
	問2(1)	力の分解	記述 作図	95	71.4%	3	2.3%	25	18.8%	10	7.5%
	問2(2)	質量と位置エネルギーの大きさ	記述 計算	62	46.6%	0	0.0%	45	33.8%	26	19.5%

令和8年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】		答案数										
		133										
問題番号	内容		出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	119	89.5%	0	0.0%	14	10.5%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	131	98.5%	0	0.0%	2	1.5%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	114	85.7%	0	0.0%	19	14.3%	0	0.0%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	92	69.2%	0	0.0%	41	30.8%	0	0.0%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	75	56.4%	0	0.0%	58	43.6%	0	0.0%
	問3	No.1	まとまりのある英文の聞き取り	記号選択	94	70.7%	0	0.0%	38	28.6%	1	0.8%
		No.2	まとまりのある英文の聞き取り	記号選択	80	60.2%	0	0.0%	53	39.8%	0	0.0%
	問4	(1)	やや長めの対話の聞き取り	記号選択	74	55.6%	0	0.0%	58	43.6%	1	0.8%
		(2)	やや長めの対話の聞き取り	英文記述	37	27.8%	25	18.8%	23	17.3%	48	36.1%
	問題2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	77	57.9%	0	0.0%	45	33.8%	11
No.2			対話文中の単語補充	単語補充	78	58.6%	0	0.0%	38	28.6%	17	12.8%
No.3			対話文中の単語補充	単語補充	8	6.0%	0	0.0%	94	70.7%	31	23.3%
問2		No.1	英文中の単語補充	記号選択	50	37.6%	0	0.0%	82	61.7%	1	0.8%
		No.2	英文中の単語補充	記号選択	98	73.7%	0	0.0%	35	26.3%	0	0.0%
問3			語形変化及び不足語補充	英文部分記述	42	31.6%	17	12.8%	59	44.4%	15	11.3%
問題3	問1	①	対話文完成(英文記述)	英文記述	48	36.1%	5	3.8%	52	39.1%	28	21.1%
		②	対話文完成(英文記述)	英文記述	7	5.3%	21	15.8%	57	42.9%	48	36.1%
	問2		テーマ英作文(意見記述)	テーマ英作文	23	17.3%	79	28.6%	34	25.6%	38	28.6%
問題4	問1	(1)	・内容把握(イラスト選択)	記号選択	118	88.7%	0	0.0%	15	11.3%	0	0.0%
		(2)	・内容把握(英文選択)	記号選択	96	72.2%	0	0.0%	36	27.1%	1	0.8%
		(3)	・内容把握(英文選択)	記号選択	64	48.1%	0	0.0%	68	51.1%	1	0.8%
	問2		・内容把握(語句選択)	記号選択	99	74.4%	0	0.0%	33	24.8%	1	0.8%
	問3	(1)	・内容把握(イラスト選択)	記号選択	68	51.1%	0	0.0%	63	47.4%	2	1.5%
		(2)	・内容把握(語句選択)	記号選択	55	41.4%	0	0.0%	76	57.1%	2	1.5%
問題5	問1		・内容把握(和文選択)	記号選択	82	61.7%	0	0.0%	48	36.1%	3	2.3%
	問2		・内容把握(単語補充)	単語補充	20	15.0%	0	0.0%	95	71.4%	18	13.5%
	問3		・内容把握(英文選択)	記号選択	85	63.9%	0	0.0%	42	31.6%	6	4.5%
	問4		・内容把握(要旨並べ替え)	記号整序	25	18.8%	0	0.0%	105	78.9%	3	2.3%
	問5		・内容把握(イラスト選択)	記号選択	82	61.7%	0	0.0%	46	34.6%	5	3.8%
	問6		・内容把握(英作文)	英文記述	17	12.8%	12	9.0%	41	30.8%	63	47.4%

《 国 語 》

【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識が身に付いているかをみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力をみる。
- 3 説明的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて、その理解力をみる。また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、国語の基礎・基本となる言語事項について理解する力をみる問題構成とした。漢字の読みに関する問題は正答率が高かった。語句の知識、文法の知識を問う問題の正答率はそれぞれ5割を下回り、基本的な文法や語彙等について、今後も継続して正しい理解・定着に努めたい。
- 2 問題二は、文学的な文章からの出題とし、文脈をたどりながら、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を理解する力、また、表現の効果について理解する力をみる問題構成とした。内容の理解度を問う問題については、記号選択問題では正答率が高かったが、記述問題では正答率が低かった。表現の理解については、中学生が表現の特徴について話し合う場面を設定して出題したが、7割程度の正答率となった。場面と場面、場面と描写などを結び付け、登場人物の心情等を読み取るとともに、読み取った内容を条件に合わせた的確に表現する力の育成が重要である。
- 3 問題三は、説明的な文章からの出題とし、筆者の論理の展開・構成・内容・文脈を理解する力、文章と文章の関係を理解する力、また、読み取った内容を的確に表現する力をみる問題構成とした。事実と意見との関係などについて捉え、具体的に表現して解答する問題について正答率が低く、無答率も高かった。文章と図の関係や、文章の構成を理解する問題について、正答率が5割に満たなかった。文章の構成や論理の展開について理解した上で、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、説明したりする力を育成したい。
- 4 問題四は、古文の基本的な知識や内容を理解する力をみる問題構成とした。内容の理解に関する問題は概ね正答率が高かったが、文脈に即して適切な解釈を選ぶ問題はやや正答率が低かった。日頃の学習において、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知り、古典に親しむ態度を育てたい。
- 5 問題五は、中学生のグループが「鳥取県における地域活性化のための取り組み」についてポスターを使って発表する場面を設定し、「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」に関する力をみる問題構成とした。「話すこと・聞くこと」においては、資料を用いた話し方の工夫を捉えることに課題がある。また、文章の推敲においては、文章の中から修正すべき点を指摘し、実際に修正することに課題がある。作文においては、与えられた条件に従って、根拠を明確にした上で、その適切さを考えながら自分の考えを文章にまとめる力を育成していく必要がある。

《 社 会 》

【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図やグラフなどの資料をもとに、その地域的特色や課題について考察する地理的な見方・考え方が身に付いているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で思考、判断し、表現する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とし、問1は世界地理、問2は日本地理からの出題とした。問1 (3) ②《世界の鉱産資源 (レアメタル)》、問2 (1) ①《日本列島周辺に見られる海流》など、基本的な知識を問う問題の正答率は高かった。問1 (4) 《ヨーロッパ諸国における周辺国とのつながり》では、周辺国とのつながりの特徴がみられる理由について、条件に従い説明することが求められるが、既習知識と結び付けることで、説明を求める問題としては比較的高い正答率となった。一方、問1 (3) ①《国の特徴 (南アフリカ共和国、フランス)》、問2 (2) ①《日本の農業の特色 (果実、米、畜産)》のように、基本的な知識を問う問題であっても、組み合わせる形式の問題となったことで正答率は高くならなかった。また、問1 (5) 《発電電力量の推移と発電量の内訳》、問2 (1) ②《降水量からみる地域的特色》のように、既習知識をもとに複数の資料の読み取りから解答する問題や、降水量のみの特徴から地域的特色を思考する問題の正答率も低かった。今後も、社会動向に関心を持たせながら、単に地域的特色を理解するだけでなく、事象間の関連を考察しながら学習した地域的特色を総合的にとらえる力や、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けさせることが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とし、問1は古代から近世、問2は近世から現代までの歴史からの出題とした。問1 (4) ①《鎌倉幕府における主従関係》、問2 (3) 《第一次世界大戦終了後の国際関係》のように、基本的な知識を問う問題の正答率は高かった。また、問1 (1) 《仏教が伝わったことによる変化 (仏教伝来の前後)》、問1 (4) ②《蒙古襲来時の日本の対応》のように、古代から近世における基本的な知識を問う問題においても比較的正答率が高かった。一方、問1 (5) 《江戸時代における米の取引 (鳥取藩の財政)》は、歴史的なできごとの認識だけでなく、資料の読み取りも必要となる融合問題であり、きわめて正答率が低かった。また、問1 (2) 《日本書紀が完成した時期》、問2 (4) 《諸外国と日本との国際関係》のように、歴史的事象の把握だけでなく、時代の流れを理解して正解を導き出すような形式の問題は、正答率が低かった。今後も、我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習とともに、諸外国との関連性など歴史的な見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問2 (1) ④《公共の福祉による人権の制限》の正答率は8割を超え、基本的な知識の定着がみられた。また、問1 (4) 《国際連合がおこなう活動》、問2 (1) ①《発展途上国の自立支援の取組》の正答率も高かった。問1 (3) 《シルバー民主主義についての考察》は、社会的事象について複数の資料から読み取る問題であったが、正答率も高く、各資料の意味を理解し考察に結び付けることができていた。一方、問1 (5) 《カーボンニュートラル》については、社会的事象に係る知識の把握だけでなく、政策の基となる知識及び概念について、資料から読み取り説明する問題であり、正答率が低かった。問1 (2) 《国会と内閣、地方議会と地方公共団体の首長》では、関係図の内容の説明において、既習知識と関連付けることが求められたが、正答率は低かった。今後は、公民的分野に関する知識を習得することに加え、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、判断し表現する力を養うことも重要である。
- 4 三分野とも、基本的な知識や概念の習得に成果がみられる一方、習得した知識を活用し、社会的事象と結び付けることや資料等の読み取りに活用する資質・能力の育成が今後も求められる。中学校での学習において「何を理解しているか、何ができるか (生きて働く「知識・技能」の習得)」「理解していること、できることをどう使うか (未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか (学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)」の育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえた学習の充実が求められる。また、三分野の特質に応じた視点を生かした考察や構想 (選択・判断) に向かう「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせることで社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会にみられる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする学習の一層の充実が求められる。

《 数 学 》

【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項に関する理解をみるとともに、計算する力・表現する力が身に付いているかをみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方・考え方を働かせて、対象を論理的に考察し、問題解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、小問集合とし、各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力を問う問題を多く出題した。基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高かったが、等式を変形する問5の正答率は36.1%と、基本的な問題にも課題がみられた。また、文章を読んで方程式をつくる問11(1)の正答率は32.3%、作図の問13の正答率は27.8%と、題意を理解し表現する力に課題がある。
- 2 問題2は、身近な場面をとりあげた資料を用いて、正しく分析、処理する力を問う問題とした。問2の問題については、四分位範囲を求める基本的な問題にもかかわらず、正答率が56.4%と、こちらの想定を下回った。問4の問題については、箱ひげ図から読み取れることを選ぶ問題だが、正答率30.8%と低く、批判的に考察したり、判断する力に課題がある。
- 3 問題3は、放物線や直線を題材に、図形の性質を式やグラフに活用し、問題解決する力を問う問題とした。問1の正答率は68.4%、問2の正答率は51.9%と、基本的な問題にもかかわらず、基本的な知識が定着していないことが窺える。問3は等積変形の問題、問4は三角形の面積に関して立式する問題であるが、ともに正答率は低く、論理的に考察する力の育成が重要である。
- 4 問題4は、与えられた情報を処理し、式を用いて数理的に考察し、問題解決する力を問う問題とした。問1の正答率は94.0%と高く、与えられた情報を処理する力の定着がみられた。問2は会話文を読んで立式する問題であるが、正答率は54.2%と、規則性を考察し一般化する力に課題がみられた。問4は、問題の条件を変えた問題で正答率は低く、この「条件を変えた問題」は、令和7年度全国学力・学習状況調査でも正答率は低い。
- 5 問題5は、日常生活に使われる図形を題材に、数学的な見方・考え方を働かせて図形を捉え、問題解決する力を問う問題とした。回転体の体積を求める問1の正答率は51.1%、回転の軸から離れた図形の回転体の体積を求める問2の正答率は49.6%であった。問3、問4は条件を変え、会話文を参考にして解決する問題として出題したが、正答率は低く、文章の意図をくみ取ることができなかつたと推察される。数学的な見方・考え方を働かせて問題解決を図る学習過程を充実させていく必要がある。

【出題の基本方針】

- 1 自然の事物や現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身に付いているかをみる。
- 2 自然の事物や現象について、基礎的・基本的事項を理解し、知識・技能が身に付いているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力をみる。
- 4 身近な自然の事物や現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。ヒトの様々な刺激に対する反応経路が理解できているかを問う問題である。問1は目の構造についての基本的な知識を問う問題であったが、正答率は33.8%と想定より低かった。また、問3の目で光の刺激を受けとってからうでが反応するまでの経路を選択する問題は正答率が31.6%と低く、目から脊髄を通り脳に刺激が伝達すると誤答するものが多くみられた。ヒトの刺激に対する反応を、日常的な体験とも関連付けて科学的に探究する態度を育てたい。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。硫化鉄が生成される反応について問う問題である。問2の化学式を答える問題では正答率が62.4%、問3の反応が続く反応の種類を答える問題では正答率が73.7%と高かった。一方、問4の発生する気体の性質を選択する問題では、正答率が37.6%と45.1%と低く、問5の化学反応における量的関係から生成物の質量を予測しグラフに表現する問題では、正答率が12.8%と低かった。やや複雑な条件を整理して正解に導く力に課題があると感じられる。
- 3 問題3は、地学分野に関する出題とした。地震のしくみや引き起こされる災害について、表や図から考察する力を問う問題である。問2(1)の初期微動継続時間の読み取りや、(2)の発震時刻を問う問題は、(1)の正答率が83.5%、(2)は57.9%と高かった。一方、問3(2)の液化化のモデル図から地面の沈下を説明する問題では正答率が22.6%と低かった。身近な現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度とともに、現象の理解を曖昧にせず科学的に説明できる力を育てたい。
- 4 問題4は、物理分野に関する出題とした。モノコードを用いた実験を題材に、音という現象の理解を問う問題である。問2(2)のオシロスコープに表示される波形の時間変化について問う問題では正答率が高かったが、問2(1)で振動数を求める問題は、基本的な問題にもかかわらず正答率が30.1%と低かった。また、問3の音の跳ね返りを利用して距離を求める問題も正答率が34.6%と低く、計算問題に課題が見られた。図や条件を正確に読み取り、計算して解答を導く力を身に付けさせたい。
- 5 問題5は、生物分野に関する出題とした。生物の発生の過程や遺伝のしくみについて基本的なことを問う問題と、生態系のつり合いについての変化を理解しているかを問う問題である。全体的に正答率が高く、豊富な情報から複雑な条件を整理して読み取ることができている。一方で、問2、問3(2)のように選択問題であるにもかかわらず無答も複数あり、長い文章から条件を読み取り整理する力に差が見られる。日頃から、読書などを通して活字にふれ、論理的に構成された文章から情報を読み取る力を育てたい。
- 6 問題6は、化学分野に関する出題とした。塩酸の電気分解を題材に、イオンの性質や気体の性質などを理解しているかを問う問題である。問1の塩化水素の電離をイオン式で表す問題は正答率が63.2%と比較的高く、一定の学習の成果が見られる。また、問2の水素イオンに関する選択問題でも正答率60%を超えている。一方、問3、問4の1、2年生で学習した知識を用いて回答する問題では、問3は48.9%、問4は16.5%と正答率が低い。学年を超えて横断的に学習を深める必要がある。
- 7 問題7は、地学分野に関する出題とした。天体の動きや位置関係、今年も話題に上がった月食のしくみに関わる問題である。問2の月の1日の動きを問う問題では、内容的には小学校の既習事項であるが、正答率が46.6%と低かった。月の公転による動きと混同していると考えられる誤答も目立ったが、身近な天体現象について、体験的に理解することができていないと考えられる。問3は3つの天体の観測結果から条件を整理し、位置関係を推測するやや複雑な問題であるが42.1%の正答率となった。
- 8 問題8は、物理分野に関する出題とした。自作した装置で様々な実験を行い、結果から運動とエネルギーの規則性を推測する思考力を問う問題である。問1(2)の力学的エネルギー保存の法則から運動エネルギーを求める問題では無答率が高く、文字式を用いた抽象的な思考に課題が見られる。一方、問2(1)の重力の分力の作図では、正答率71.4%と高く、問2(2)の他の実験結果から法則性を導いて解答する問題も正答率46.6%となり、学習成果が見られる。

《 英 語 》

【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的知識と、それを活用する力が身に付いているかをみる。
- 2 短い英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を捉え、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常的な話題について、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 日常的な話題や社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや図表なども参考にしながら、必要とする情報や要点を正確に読み取る力をみる。
- 5 まとまりのある文章を読んで、概要や要点、書き手の考えなどを正確に読み取る力をみる。

【結果の概要】

- 1 問題1の短文や短い会話を聞いて内容を理解する問題、及びまとまりのある英文を聞いて概要を把握する問題では、正答率が70%を超え、高かった。しかし、学校の統合に関する会話を聞いて自分の考えを英文で書く問題では、正答率が27.8%と低かった。普段の授業において、まとまりのある英語を聞いて、聞いた内容をふまえ、話したり書いたりする複数の領域を統合した言語活動の充実が求められる。また、話したり書いたりする発信活動の際に、言い換え表現や婉曲表現、例示などを使って、限られた言語知識を駆使してコミュニケーションを可能にしていける力を育てる必要がある。
- 2 問題2の適切な名詞を答える問題では、正答率は73.7%であった。文脈に合うように英文を完成させる問題は、昨年度に比べ正答率は上がったが、31.6%にとどまった。基本的な語や文法事項を答える問題では、既習表現の定着や活用する力に課題が見られ、普段の授業において、生徒が様々な語彙や表現に触れ、既習表現を活用して繰り返し話したり書いたりする言語活動の充実を図る必要がある。
- 3 問題3は、日常的な話題についてやり取りする際に必要となる基本的な表現や、自分の考え等をまとまりのある英語で述べる表現力をみた。テーマ英作文の正答率は17.3%と依然として低く、回数を尋ねる英文を答える問題の正答率は36.1%、接続詞を使った文を完成させる問題では無解答の割合が高かった。普段の授業において、スモールトーク等の言語活動を実施し、中間指導等を行ったり話したことを書く活動を実施したりして、正確な知識の定着や、既習事項を活用して伝える力の育成を図ることが求められる。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、「地域のイベント」、「旅行のパンフレット」、「地域活性化についての発表」を題材とした読解問題を出题した。問1では英文を的確に理解し概要やグラフを読み取る力、問2では目的・場面・状況に合わせて情報を読み取る力、問3では複数のプランを比較しながら理解し、概要や要点を読み取る力をみた。問1の適切なイラストを選択する問題は正答率が88.7%、グラフの内容を選択する問題は正答率が72.2%、問2の正答率は74.4%と高く、その他の問題も正答率は40%以上であり、実際のコミュニケーション場面を意識した「読むこと」の言語活動が行われていることが伺える。今後もさらにその充実を図ることが求められる。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、中学生のもめごとを解決するために担任が提示した物語を読み、本文の概要や要点などを理解する力をみた。物語の場面について問う問題の正答率は、いずれも60%を超えていたが、全体のあらすじを捉える問題の正答率は18.8%、物語の教訓を英語で書く問題の正答率は12.8%と低かった。普段の授業において、本文の内容をまとめた英文の並べ替えや、読み取ったことをもとに自分の考えを英語で表現するなど、概要や要点を捉えるための様々な活動を取り入れることが求められる。